

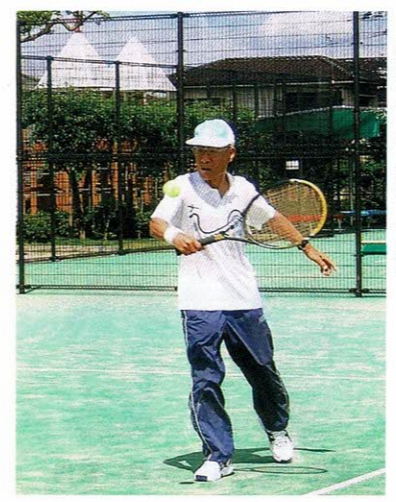
発行・宇美町体育協会 〒811-2121 宇美町平和1丁目1番1号 住民福祉センター内 ☎933-2784

**宇美町バレーボール協会宇美クラブ（青年女子）
糟屋地区体育大会10年連続優勝！
宇美町体育協会特別表彰おめでとうございます**



花田 亜紀
田辺 美香
黒谷真澄美
伊藤かおる
牟田 裕彦
今村あい子
矢野 清香
長澤美穂子
中山 薫
中園 真弓
森川 夏樹
入江 周子
原島 孝子

「健康とテニス」
テニス部 吉田 武夫さん



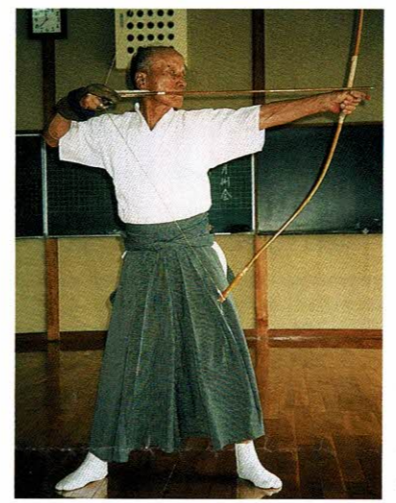
私は、人生で一番の願望は「健康」である。今年一月で八十四歳となって、こう考えた。足と腰とは身体の要、フットワークを軽やかに。年はずっともテニスはできる、八〇代は壮年部。宇美町テニスは、オムニコート、今日も白球（イエローボール）の音がする。同じ打ちながら、一球一打、共に楽しく打ちましよう。

たった一度の人生だから、好きなスポーツテニスをやって、笑って元気でやりましよう。今日も楽しく自転車こいで、テニスコートに行きましよう。宇美テニス部の月例会は、老若男女のパートナー。「あなた、〇〇までわしゃ九九まで、共に白髪の生えるまで」は昔のことよ。今じゃ「貴方一〇〇まで、私は九九まで、共にテニスをやりましよう」。

緑に囲まれ空気爽やかなこの恵まれたテニスコートで、春夏秋冬、宇美テニス部のみなさんと、テニスができて友愛を感じ、健康を保ち、今日も明日もまたことを感謝します。

宇美テニス部 万歳！

元気でがんばる
高齡(スーパー)スポーツマン



先般、博多の森弓道場で開催された福岡地区道場対抗弓道大会にわが弓道部（美弓会Aチーム）の選手として出場された教士七段の財前さんは当年八十五才の高齡者。でも元気はつらつ。予選を勝ち抜き、決勝トーナメントに進まれ、ベスト16の主力メンバーとして活躍された。

この元気の源泉は、弓道歴四十数年の長きに亘る日々の修練の累積にあると自負されている。現在も週三回は道場に来られ、部員の指導に当られる傍ら自己研磨に厳しく取り組まれている。

財前さんは、常々「継続は力なり」をモットーに、弓道の修練を通して、健康の維持増進と、心・技・体の向上を目指し、黙々と弓を引かれる。その後ろ姿から「無理をしないで、怠けない」という人生訓を学ぶ今日の姿である。

（文責 弓道部 早川）

「八十五才の現役選手」
弓道部 財前 勝己さん

「障害者スポーツのあり方」

宇美町では、「障害者手帳」を持つている方が約1400人おられます。でも申請していない人を含めると一般的に人口の約20%と思われまます。さらに、その中でスポーツをされている方はごく僅かだそう。障害者の中にはスポーツの好きな方は沢山おられますが、現実を見てもみると、活動している人が少ないのは「施設」と「サポート」に課題がありそうです。

健常者と比べてスポーツをするのは、一見難しいと思っていたのですが、「ルール」が少し違っただけで、健常者よりも上手な方が沢山おられます。その頂点が「パリンピック」です。

さて、障害者スポーツが一般的に普及するための課題として挙げました「施設」と「サポート」とは、どういうことだろうか？

第一に「施設」の課題とは、「トイレ」です。具体的に言えば、車イスや人工肛門の方専用のトイレが殆どない状況です。

第二に「サポート」については、障害者がスポーツをする時の会場への移動や用具の準備・運搬・食事の世話等「ドアtoドアのサポート体制」が不可欠で、現状はボランティアで手助けして頂ける方がかなり少ないという事です。

何不自由なくスポーツをしているあなたが、いつ障害者になるかわかりません。また、あなたの周りに障害者でスポーツをやりたいという方がいませんか？これを読まれたことを機会に「障害者スポーツ」の普及について考えてみて下さい。ご意見をお待ちしております。

（宇美町身体障害者福祉協会 山口 智也会長との対談より）

編集後記

私は宇美町青年団の代表として、今回広報委員会に所属し、創刊号発行から編集委員として参加しております。こうして編集後記を書くことになり、これまでの会議を振り返ってみると、確かに青年団としての発言は少なかつたと思いますが、体育協会のそれぞれ部の会の活動内容や意見を聞くことができたことは大変いい経験になったと思います。また、体育協会も青年団も地域の活性化や地域の輪を作っていく団体でありますので、この広報誌発行を通して体育協会の活動を広く伝え、地域の方々に興味を持ってもらえるようになればと思います。また私自身も青年団としての活動にも積極的に頑張っていきたいと思っております。（青年団員募集中です）

広報委員会副委員長 瀬川 善則



青年団のメンバーです
町民文化のつどいに参加

前列右から2人目が私です

宇美バレーボールクラブ

私達、宇美バレーボールクラブは今年も福岡県民体育大会の出場権を獲得することが出来ました。これは私達の力だけではなく体育協会の方々、関係者の方々のご協力を頂いたおかげだと思っております。

当初、宇美クラブは保田さんが指導されておられました。その頃も数度県民体育大会に出場されております。現在も当時のチームを支えられた選手の方々はママさんバレーで活躍されております。その宇美クラブを16年ほど前から受け継ぎ現在に至っております。

しかし、その2、3年後から部員は少しずつ減り試合出場も難しい頃がありました。部員の募集をしてもなかなか選手が集まらず悩んでいました。12年前から宇美東中、宇美中のバレー部出身の子供達が、高校でも続け卒業後5、6人が入部してくれてチームの中心として同世代のチームを作り上げてくれました。当時、9人制に慣れずに試合に負けて帰って来る度に反省会で色々意見を出し合い、何で負けたのか？何処が悪いのか？なには「なんで姉ちゃん、あそこ私にトス

上げんやっ」と言えは「あそこはオープンでいい」と姉妹で目に涙を溜めながら熱く語り合えば、横で頑固に「みんな頑張りようけんいいやん」と言えは「頑張るだけじゃいかんと〜」など、よく話していただきました。でも最後には、やっぱりバレーが好きで強くなりたいとみんなで週の練習を2回から3回に増やし、年間に公式試合、練習試合と37、38試合も行なった事もありました。決して大きくもない選手達でしたが、「拾ってつなぐバレー」を目指し男子部員の力を借りながら練習を続けています。全国青年大会へのハードルはとても高いですが、今年11回目の県民体育大会でチャレンジします。それから、私達とバレーボールをしませんか！高校生以上、経験者大歓迎です。

最後に、日頃より練習で体育館を使用させて頂いている行政、学校関係の方々、体育協会、バレーボール協会の方々、いつもご声援ありがとうございます。これからも宜しくお願い致します。

（監督 牟田 裕彦）

第47回福岡県民体育大会 出場選手紹介

平成16年9月25～26日に筑豊地区で開催された第47回福岡県民体育大会に宇美町から監督・選手含めて62名が参加しました。予選会に当たる糟屋地区体育大会が中止になったにもかかわらず、これだけの選手が出場できたのは、改めて宇美町選手団の実力が高いことを証明してくれたことになります。

陸上					ソフトテニス		卓球	
西村 拓巨	大塚 義範	松田 寿人	井手賢一郎	浦 武士	福嶋 瞳	正田 昭夫	大谷 慎也	
バドミントン					柔道			
横田 道代	谷元 季治	瀬尾 武史	石井 裕昭	小柳 静子	下村 哲也	西村 光史	市岡 猛	
柔道				剣道				
井手 崇	北嶋 昭人	池田 和英	久保山善次	守屋 雄造	永井 彰人	松野 拓真	徳田 克則	
剣道		弓道			相撲			
三角 康二	永富 聖徳	早川 眞吾	土生 枝子	渡辺 尚美	占部 寛	秦 幸太郎		
バスケットボール								
手島 幹大	百田 光	姫島 尚之	旭 慶大	安東 直子	江頭 恵美	宮原 由香	姫島 玲子	
水泳								
浦 馨予	六山 大輝	六山 菜	中野 稔	岡本 久恵	田辺 悠司	阿南 麻衣		

(特集) 第53回糟屋地区体育大会・・・中止!!

平成16年8月1日、宇美町を主会場として開催される予定でした第53回糟屋地区体育大会は、記録的な台風の接近のため残念ながら中止となりました。(とても珍しい出来事です!)
そこで、今回はなかなか取り上げられることの少ない(?) 事前に行なわれた結団式の模様を特集します。



▲高らかに宣誓するバレー部の本多 秀和さん、黒谷 真澄美さん
本番のリハーサルのつもりでしたが…残念



▲旗手の大役を務めた弓道部の占部 寛さん
とっても決まっています!



▲本番での健闘を誓ってみんなで乾杯…のはずでしたが



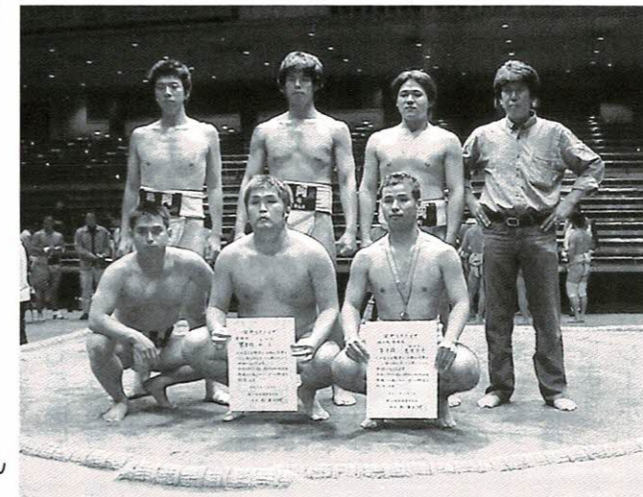
平成16年度宇美町体育協会功労者表彰

剣道部
第51回
全日本剣道選手権大会出場



塚本 幹博さん

相撲部
全国青年大会出場



(上左より1番目)堀下 和裕さん
(上左より2番目)秦 幸太郎さん
(上左より3番目)智原 勇樹さん
(上左より4番目)藤木 浩一さん(監督)
(下左より1番目)吉村 秀雄さん

(下左より2番目)池平 泰士さん (下左より3番目)南里 恵彦さん

山の会 剣道部



長沢 敬子さん



森 繁樹さん

バレーボール協会 野球連盟



原野 厚子さん



山尾 誠二さん